



# はるかだより

第4号

## ホームも 新しい生活様式に

理事長 川村 宏司

昨年度は子ども達にプレゼントやご寄付など格別のご厚情を賜り、心より感謝申し上げます。おかげ様で皆が健康に過ごし、子どもと職員一人ひとりがそれぞれの役を果たすことができました。

4月に仲間入りした5名の職員とともに、新たな職員体制で新年度をスタートしています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月末より子ども、職員も面会外出制限をし、日々の健康管理、健康観察に努めました。児童家庭支援センターは、茶話会・ベビーヨガ等を控えている状況です。

何もかもが中止になる中、ホームはいつもと違う志向で「寿司」や「ピ

ザ」、「アイスクッキー」等をデリバリー

して、子どもの笑顔に結び付けたいと、皆が自粛ムードの時でも日常の



密かな楽しみを見出そうと一生懸命でした。ご近所の皆様や関係機関からの、たくさんのマスクや野菜などの寄贈はとても心

和むものでした。このような善意に對して、「耐える日々の中にかげがえない喜びがある」ということ、また、だんだんいい方向に向かっていくことを共感できたことが今後の生活につながる確信しました。

6月になり、幼稚園に通う子どもたちが嬉しそうに職員と手をつなぎ、時には行きたくないと泣く子をなだめながら手をつないで行く日常が

戻ってきています。

このまま終息することを願いつつ、最善の準備を忘れてはいけなない決意で過ごしています。



◆発行日：令和2年8月  
◆発行者：社会福祉法人はるか  
〒740-0011  
山口県岩国市立石町3丁目6-25  
TEL：0827-28-6085  
FAX：0827-28-6086  
HPアドレス：  
<http://www.tsure20.co.jp/haruka/>  
E-mail：info@ha-ru-ka.jp

## 「日々雑感」

得能 尚子

ご縁をいただき、幼い人たちと、少しだけ一緒に過ごすこととなった。泣く、笑う、怒る、微笑む等いろいろな様子を見せてもらえる。今、この一瞬にだけ出会うことができる生命の輝きに触れあう。

まず、敬服。職員さん、ひとりひとりの素晴らしさ。引き出しがいっぱいあり、その子の様子を見ながら、天候の具合も見定めながら、次から次に繰り出される遊びの豊かさ。牛乳パックもビニールひもも、時には汽車ポッポ、時にはぎーぎー雨。こんなに楽しいことに毎日出合えるって、もしかして、すごいことかも!!

そして、子どもの様子。驚いたり、面白がったり、できないことのもどかしさや悔しさを滲ませたり。そしてその後の「できた!!」の嬉しい表情・表現だったり、子どもを見ていると時を忘れてしまう。子どもが一步一歩成長していく姿を、その一瞬に関わった者として目に焼き付けておきたいと願う。

未来を拓き、未来を生きていく、無限の可能性を秘めたこの子たちに、幸多かれと、心から祈る毎日である。

## いつもあなたのそばにいるよ 安全委員会委員長退任にあたり 改めてお話ししておきたいこと

社会福祉士 佐藤 文

「施設のルールはおいおい覚えればいい。でも、今夜、君が安心して眠れなかったり、怖い思いをしたら、それは私たち職員の責任です。」

情島にあった「あけぼの寮」(現「ライクホームはるか」)の入所に児童福祉社として立ち会ったとき、当時の桑野眞理施設長のこの言葉によって、その子がほっとした顔になったことを今でも鮮明に覚えています。私も心から安堵しました。

長い間、大方の児童福祉施設では、強い子が弱い子に暴力を振るう、子ども同士が傷つけ合うといったことが、しばしば起きていました。しかもそれは、職員をはじめとした周囲の大人が知らないところで起こっていました。

児童福祉に関わる者にとって、家庭で暮らすことが難しい子どもさんを保護者からお預かりした後に、入所先の施設で悲しく辛い思いをさせることは、本当に申し訳ないことで、身を切られるような思いがします。

「幸せになってほしい」という願いとは真逆の結果になるからです。看過できない早急に解決すべき問題だと痛切に思っていました。

この問題に大変心を痛めている時に、九州大学名誉教授 田嶋誠一先生の考案された「安全委員会方式」に出会い、子どもたちの置かれた状況を改善するにはこの方式しかない と確信しました。でも、なかなか取り組んでくださる施設はありませんでした。

そうした状況が続く中で、2006年1月、あけぼの寮が、日本で初めて、子どもたちの安心・安全を保障するために「安全委員会方式」を導入されました。そこには、桑野施設長の覚悟と決断があったとお聞きしています。

「叩くな、口で言おう。やさしく言おう。」という合い言葉を、子どもたちはみんなすぐに覚えました。

施設に存在する2レベル(顕在的・潜在的)3種類(職員から子どもへ・子どもから職員へ・子どもから子どもへ)の暴力問題に関する対応が始まりました。毎月、職員から子どもたちへ定期的な聞き取り調査が行わ

れ、子どもたちは7項目の聞き取りに真剣に答えてくれ、最後に自分の希望や思いを話してくれました。その結果を安全委員会で審議します。委員には、職員のみならず、学校、児童相談所、地域の方など外部の人も就任しています。審議内容は「安全委員会だより」によって子どもたちにフィードバックされます。

活動が始まって以来、子どもたちは徐々に、暴力で物事を解決しなくなり、言葉できちんと相手に伝えることができるようになりました。また、自分の気持ちを言葉で表せるようになって、我慢強く優しくなりました。2014年に、私は初代委員長の白鳥文明先生から委員長を引き継ぎましたが、嚴重注意や一時保護の依頼はしましたけれども、施設内で暴力を振るって退所になった子どもは一人もおりませんでした。小さな諍い以外、施設から暴力はほぼ無くなりました。

2015年に川村宏司現施設長が就任され、2016年4月には施設が情島から岩国に移転しました。施設にとって大きな変化はありませんが、安全委員会活動は継続され、そ

の設立の精神と歴史は受け継がれています。

職員の皆さんは子どもたちと話したり寄り添う時間がとれると語ってください、子どもたちは自分

分に自信を持って、学校生活やクラブ活動、就職、進学などで自分の夢を実現できるようにしました。

本年3月、私は健康上の理由で委員長を退任しましたが、もう、12年前のような暴力の心配はしていません。

子どもたち、私の心はいつも、あなたのそばにいます。ずっとずっと見守っていますからね。幸せになってね。

### 新委員長挨拶

川崎 壽夫

今後とも発足当初の思いを受け継ぎながら、全職員で暴力のないホームを目指します。



令和元年度

# 思い出のワンショット



## ホーム大空



8月26日  
退所した遠藤士侑くに会いに広島へ。  
ホテルグランヴィアにてみんなでランチ  
バイキングへ。

## ファミリーホーム母譜



5月25～26日  
中国地区子ども企画里親研修大会  
子ども企画

## ホーム大海

毎年恒例?  
大阪旅行のワンシーン



## ファミリーホーム歩

8月8日 いけだ動物園



珍獣に囲まれた  
かわいい子猫ちゃんたち

## ホーム大地

12月14～15日 岡山旅行



倉敷美観地区にて。人生で初めて人力車に乗りま  
した。車夫さんとたくさんお話をして詳しくなり  
ました。

## グループホームいろ葉



9月22～23日 高松旅行。  
退所した小川大樹さんとレオマワールドで1日中  
遊びました。

## ファミリーホーム吉田 ～母譜～



犬のもっぶとばんぶも一緒に散歩に行きました。  
みんなが揃って意外にも珍しいよね。

### 40キロ完歩!

今年1月中旬に、中学3年生と長  
距離歩行(40キロ)に臨みました。

忍耐力を育み、協調性を培うこと  
を目的としたものです。事前に計画  
を立て歩行に臨みました。

出発時間が遅くなり、その上、予  
定していた道とは違う道を通ってし  
まったため、休憩の時間が短くなって  
しまいました。お互いを気遣いなが  
ら不満をもらすことなく最後まで歩  
き続けることができました。

この経験が、これからの人生におい  
て困難を乗り越えるための糧となり、  
そして、周りの人を思いやる気持ち  
を持ち続けられるよう願っています。

グループホームいろ葉

# それぞれの ステイホーム

3月から学校等が休校となり、自粛生活がスタートしました。

この期間中、各ホームでどのような生活を送っていたのでしょうか？

## ライクホームはるか

### ホーム大地

高校生1人、小学生2人、幼児3人の男女6人で生活しています。

小学生は午前中、学校から出された課題に苦戦しながらも取り組みました。女の子が多いこともあり、料理のお手伝いやお菓子作りをして過ごしました。また、大地では自転車ブームでサイクリングや練習をたくさんしました。

幼稚園、小学校は学校が始まり、新しい友だちもできてみんな元気いっぱいに登校しています。



高校生は5月下旬より学校が始まり、部活に勉強に忙しい日々が始まりました。自立に向けてホーム大河でのプレ一人暮らしも始めました。

感染予防に努めながらも、子どもたちが楽しく毎日を過ごしていけたらと思います。

### ホーム大空

0歳児から高校生と幅広い年齢の子がいるホーム大空では、めったに出すことのないホットプレートが登場しました！「何をやるの？」と、目をキラキラ輝かせる幼児さん。

まずはたこ焼きパーティーです。4歳男児T君が、くるくるっと上手に丸める姿を見て職員もビックリ。でも、苦手



なタコはこっそり出すT君でした(笑) 次は瓦そばです。「どうして麺が緑なの？」と疑問を抱く子ども達。今度はみんなで本場の瓦そばを食べに行きたいと思っています。

作る楽しさと食べる楽しさの両方

を一度に味わえるホットプレートに困めば、みんな笑顔いっぱい！今度は何を作ろうかとワクワクしているホーム大空です。

### ホーム大海

外出できない中で子どもたちの楽しみは食べることでした。ピザやパスタのテイクアウトに手作りおやつ。心に残る素敵な思い出をつくりたくて食べるときの演出も考えました。



ホームの前にテントを張りオーブンテラスにしたり、食後に皆で寝そべって星空を眺めたり。短大生は休校の間、どっさり送られてきた課題とオンライン授業にお疲れ気味でしたが、毎日長時間机に向かい頑張っていました。

今春、大海では二人の1年生が新生活をスタートさせました。一人は県外の大学に進学した1年生。コロナ禍、新天地で一人不安な想いをしているか気がかりでしたが、お籠り生活は苦でなかったようで、自炊

も頑張り上手に一人暮らしをしている様子。もう一人はランドセル姿が可愛い1年生。ひらがなと足し算の勉強を頑張っています。

### ホーム大河

幼児3〜4名での日中の保育を行っています。午前、午後と天気の良い日には公園へ行き、ブランコ、すべり台、かけっこ等をして元気に遊んでいます。近くに公園が多くあるので、他の方が利用されていない場所でも遊ぶようにしています。

遊びから帰ると玄関でアルコール消毒をして入り、その後すぐに手洗いをしています。

子ども達も消毒をすることが習慣づいており、友達の手のひらにかけてあげたりする姿が見られます。手洗いをする回数も以前より多くなり、とても上手に時間をかけてできるようになりました。



### 地域小規模児童養護施設 グループホーム いろ葉

小学生3人、高校生1人、大学生1人、社会人1人の男子6人で生活しています。

小学生の午前中は、学校から出された課題に取り組み、それが終わればジグソーパズルをしたり、工作をしたりと制作意欲がみなぎっています。とくにラキューを組み立てる時の集中力、創作力はこれまでに見たことのない姿で、完成した作品の精度の高さに驚かされました。

高校1年生になる子は、入学式もいままま5月下旬から登校が始まり、大学生も前期はオンライン授業でギリギリに起きる毎日。社会人1年生は、仕事の時間も増え、疲れたと言いながらもなぜか充実した顔をしています。

今はなままった体をマラソンや外遊



びで取り戻しているところ。自粛が解けても安心せず、手洗い・マスク・三密回避で予防します。

### ファミリーホーム歩

子ども達が久賀で生活をはじめ、5年。今年度は、久賀保育園年長、久賀小学校2年生、周防大島高校1年生、柳井商工高校2年生、岩国総合高校3年生の5人でのスタートです。

2月末から、新型コロナウイルスの影響で、学校が休校になり、一時は中学校の卒業式も心配でしたが、とても心に残る卒業式でした。

4月には、入学・新学期を無事迎えました。間もなく再度の休校となり、長期間子どもたちもホーム内の生活を余儀なくされました。

歩では、休校中の平日は高校生の女の子が主となり日々交代で、昼食作りを手伝ってくれました。初めて作る献立などは、スマートフォンで調べながら作ってくれたりもし、みんなのために奮闘してくれました。日が経つにつれ、手際も良くなり、子ども自身からも「こういうことをしていたら、レパートリーも増えるし、

将来自立した時に役に立つよね。」という言葉も出てくるようになり、作った料理のレシピをノートに書き留めたりする様子も見られました。

また、小さい子は小さい子同士、大きい子は大きい子同士で仲良く遊ぶ時間も持て、日頃より笑い声も増えたように感じます。

休校も悪いことばかりではなく、子ども達の成長に繋がっているように感じました。

学校、保育園が再開し、園児さんは毎日楽しく登園しています。小学校の登下校では、地域の方に見守っていただき、声を掛けてもらいます。周防大島高校の子は自転車通学のため、見掛けた方から頑張っているよと教えてもらえます。

地域の皆さんに見守っていただき



ながら地域の子として成長しています。私たち職員も子どもたちと一緒に今後も成長を続けたいと思います。

### ファミリーホーム 吉田く母譜

幼稚園児2名。もともと「行きたくない！」年少児でしたので、休園を「やったあ！」と大変喜び、年長のお兄ちゃんは、トミカやユーチューブなどを見て過ごしていました。

小学生2名。2年生の男の子はまず、ゲームをする時間を決めることから始め、その空いた時間に宿題をしていました。

6年生のお姉ちゃんは、たくさん出された課題を毎日2時間以上かけてコツコツとこなしていました。

中学校に入学したばかりの長男は、「習っていないのわかるわけないし！」とぼやきながらも何とかやり上げることができました。

公園や外遊びもままならず、外出もほとんどありませんでしたが、みんなと一緒にいられる時間が増えて喜んでいただのは、マスクですっぴんを隠していた母なのでした。





小学生とコロツケを作りました  
 ☆おいしくできました☆  
 形は愛嬌★★★

### ファミリーホーム母譜

3月3日から臨時休校が始まり、約3カ月間、小学生男子2名、女子1名、中学生男子1名、高校生女子2名の計6名の子とも達とステイホームを過ごしました。

規則正しい生活だけは送ろうと心がけ、早朝ウオーキング、課題を済ませたその後は、それぞれ好きな時間を過ごしました。小学生2名はトミカタウン作り。なぜか高3女子1名はこのタウン作



りに参加。よく面倒をみてくれました。

小6女子は、クレープ



やパン作り、エステサロン開店?! 私もヘッドマッサージに癒されました。他の子もお客様となり、大入り満員、大繁盛。中2男子はここぞとばかりにゲーム三昧の毎日でした。子ども達同士、折り合い良く元気に過ごせたことに感謝です。今は、学校も始まり、少しずつペースを取り戻しているところです。

### 自立援助ホーム

## Re・HARUKA

大学4年生のマジシャンボーイ。18歳のホテルに勤めているウエディン

グプランナーガール。ただいま休業中、アルバイトを探しながら復学して高校卒業を目指す17歳のテレビ大好きのおびりガール。高校3年生の釣り好きおしゃれボーイ。高校3年生の弓道ガール。福岡に進学したがコロナ禍に見舞われ、学校が開始されず、やったーと喜んで戻ってきた短大1年生の戻りガールの6名で楽しく生活しています。

コロナの影響で学校も休校、入学式も中止、上位入賞を目指していた大会も中止、アルバイトも自粛や回数が減ったり、希望の部署に配属されたのに式のキャンセルが相次いだりと、それぞれ大変な日々を送っています。

しかしながら、そんな困難は、吹き飛ばしてしまおうくらい、毎日、お腹を抱えてみんなで大笑いして過ごしています。

でもでも、ソーシャルディスタンス。そして飛沫感染しないように手洗い、消毒、マスク着用はしていますのでご安心を…(笑)。

子どもも職員も元気いっぱい、夢いっぱい、楽しく仲良くとをモットーに頑張っています。

### 児童家庭支援センター はるかこどもの相談センター

こんにちは。はるかこどもの相談センターです。昨年度末からの新型コロナウイルスの流行によりセンターでは、ヨガ・茶話会などのイベントの開催を自粛しました。にぎやかだったプレイルームは、その日の予定に合わせて、「三密」を避けるための面接室や職員の仕事部屋として様変わりしました。

またこの自粛期間中、保護者やお子さんへの直接的な相談・支援の回数は少なくなりまりました。しかし、関係諸機関との情報共有や助言などでの間接的な支援は通常通り行っていたこともあり、2019年度の相談実績は、前年度に引き続き増加し、延べ4230件の相談対応をしました。

～2019度：相談件数実績～

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受理人数	65	21	30	13	16	8	9	21	20	4	9	18	234
継続相談人数	0	40	43	60	46	48	48	47	46	47	31	48	504
月別相談実人数	65	61	73	73	62	56	57	68	66	51	40	66	738
月別延件数	421	264	368	401	359	390	307	300	381	331	294	414	4230



昨年度の活動の様子



れるよう邁進してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

2020年度のスローガン「和(わ)・輪(わ)・笑(わ)」のように、個性豊かなセンタースタッフが調和して、岩国市をはじめとした近隣市町との連携の輪を広げ、地域の子ども・子育て世帯が笑顔になれるよう邁進してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

### 麻里布第二放課後児童教室

休校で終日開室となり、教職員の方々との連携で保育を行いました。2時までは自主学習時間で、児童は貴重な経験をしました。

支援員は、児童のマスク着用、手洗い、消毒、検温の徹底確認の他、定期的な換気と設備の消毒を入念に行いました。

すでに密な教室内で、可能な限りの予防策を取ることは児童にも窮屈な思いをさせてしまいました。仲良くくつついて遊んでいると距離を取るよう注意をし、昼食やおやつ時は同方向を向き静かに食べるよう促しました。

外遊び時にもこまめな給水とマスク着脱のタイミングにとくに気を配りました。

あの時は頑張ったねと、子ども達と笑顔で振り返られる日が早く来ることを願います。



### リモート会議やってみた

児童養護施設はテレワークが出来ない? いえいえ、子どもへの支援においては難しくても、何かできるはず! 三密回避の取り組みとして、リモート会議を開始しました。繋がりにくい等、まだまだ改善の余地はありますが、今後也有着を目指します!



### 卒業生の今

香川大学2年 小川 大樹

私は、高校を卒業してから児童養護施設を退所し、香川大学に入学しました。施設で学んだ生活知識は、一人暮らしをしている今でも非常に役立っています。例えば、米を小分けにして冷凍保存することで、節電ができるなどです。家事などの知識だけでなく、人との関わり方に関しても、施設に入る前と後とは大きく変わりました。関わり方を学び、

経験を積んだことで、今でも人間関係で困ることは少ないです。

世間的にコロナが流行りましたが、そもそも施設にマスクが常備してあったため、流行る前から購入していたおかげでとくに困ることもありませんでした。また、施設を退所してからも、職員の方々の手厚いアフターケアのおかげで、日々自分のやりたいことができっています。

この自粛期間を使い、私は大学の友人と一緒に、オンラインでの個別型の塾の創設を考えました。充実した日々を送ることにより、目標もできたことは、私にとって非常にうれしいことです。



### 新人職員紹介

ホーム大空 水藤 将人

畑違いの文系大学を出て、建設機械の営業や介護施設を経て、児童養護の世界に入りました。

子ども達と毎日を通ぐす中で、一人の人間としてどう自分が向き合えるか、毎日が勉強です。皆で楽しく、何気ない日々を大切に。

ホーム大地 村田 和恵

食べることが大好きで丸く成長中の40歳。ホームの子ども達(&私)に食事を作っている時が一番幸せな時間。「いっぱい食べて、体も心も大きくなあれ。」(私の体重は増えませんが...)と願っています。

若いころのように動けないことを実感する日々ですが、子ども達に労われ&癒されながら過ごしていきま。よろしく願っています。

Re:HARUKA 山村 尚史

親にはなれないが親の役目を担い、仕事ではあるが仕事として従事しているわけではなく、結果は求めていないが、出るとしても何年か先のことだろう。

ホーム長の発するオーラと、Oさんの人間性に惹かれここに入ることを決めたとはいえ、何とも不思議な世界に足を踏み入れたものだ。

ただ、一時間の車での帰宅中、何とも言えない充実感があるのはなぜだろう。

教育と養育の違いが最近少しづつ理解できるようになった未熟者ですが、皆さんよろしく願っています。

ホーム大空 藤中 綾子

高齢者の施設で働いていましたが、シフト利用で来る障害をもった子ども達が愛しくて、児童福祉に興味をもちました。

一日一日を大切に。ていねいに。子どもと一緒に過ごしていけたらいいなと思っています。

ホーム大空 岡崎 舞

大学卒業後、一年目は広島のアミリーホームで働いており、今年度からライクホームはるかに転勤となりました。

子ども達との生活は、毎日が新しい発見や刺激を受ける出来事ばかりです。自分のまだまだ未熟な面と向き合いながら、私も子ども達と一緒に成長していきたいと思っています。

この一年で頑張りたいことは「虫を持つって追いかけてもくじけたくない」。



ご支援者

【ご寄附】

- ・大和 泰久様
- ・ときわ不動産株式会社様
- ・昭和不動産株式会社様
- ・松田 洋子様

・Shaune Watley様

・BINKANレーベル 西中島きなこ様

・ハギハラカツヤ様

・重田 糾夫様

・久家 寛子様

・山口サントさん会実行委員会

・NPO法人ふるさと山口経営者フォーラム様

・株式会社ビジコム様

・井岡 久明様

・得能 尚子様

・一般財団法人日本児童養護施設財団様

・ウォーカー真奈美様

・岩国通運株式会社様

・代表取締役社長 海嶋 祐之様

・立石自治会 中重様

・みちよ歯科様

・東地区社会福祉協議会 池上 美智子様

・新庄 富子様

・岩国葬儀社 福田 真二様

・山本 巧様

・岩国市本郷町の皆様

・日本養護施設財団全国児童養護施設

・全国シヤンメリー競合組合様

・全国労働者共済生活協同組合連合会様

・溝田 倅子様

・ときわ不動産株式会社様

・伊藤 志久子様

・ほつともつと様

・高瀬 範夫様

・斉藤 覚博様

・株式会社少年画報社

・ヤングキングBULL編集部様

・さがわ様

・岩国通運株式会社様

・株式会社J.O.E様

・株式会社徳洲会 竹林 央人様

・山口県スポーツ用品小売協同組合

・株式会社徳洲会 竹林 央人様

・株式会社徳洲会 理事 河上 年博様

・株式会社徳洲会 竹林 央人様

・コストコホールセールジャパン株式会社様

・公益財団法人 毎日新聞西部社会事業団様

・有限会社タスカジャパン クアウテモック様

この他、地域および匿名の方々と

り、寄付金・お米・お野菜等をたくさんいただいたいております。

誠にありがとうございました。

【平成31年4月1日〜令和2年3月31日まで】



ありがとう  
ございました

